

第 78 回日本臨床眼科学会

- 日 時** 2024 年 11 月 14 日 (木) ～17 日 (日)
- 場 所** 国立京都国際会館 (〒 606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422)
ザ・プリンス京都宝ヶ池 (〒 606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町 1092-2)
- 学会長** 外園千恵 (京府医大)
- 副学会長** 柏井真理子 (京都府眼科医会)
- プログラム委員長** 庄司信行 (北里大)
- テーマ** 未来への貢献
- 主なプログラム** 特別講演
- (予定)** 「未定」 日下俊次 (近畿大)
「角膜の外科的治療の変遷と課題」 島崎 潤 (赤坂島崎眼科／東京歯科大)
- 招待講演
「未定」 Felipe A Medeiros (Duke Eye Center／Duke University)
「予測科学としての臨床医学のフロンティア, トランスレーショナルリサーチとヘルスデータサイエンス～その原理と実践」 福島雅典 (京都大／LHS 研究所)
- シンポジウム
- ・再生医療・新時代における角膜移植の新戦略
 - ・「視点が広がる」涙道内視鏡診療
 - ・白内障同時手術のエビデンスと最新の知見
 - ・視機能障害検出法の進歩と課題
 - ・MIGS 時代の緑内障手術選択
 - ・黄斑微細構造から視機能回復を考える硝子体手術
 - ・網膜硝子体診療の近未来像～その可能性と実現に向けた壁とは～
 - ・糖尿病網膜症 Beyond Anti-VEGF
 - ・超高齢化社会におけるぶどう膜炎診療
 - ・花粉症克服のための眼科医の挑戦
 - ・小児眼科のサイエンス
 - ・コンタクトレンズの進化：こんなことまで出来ます
 - ・視覚障害者に対するスポーツの可能性を探る！
 - ・新しい薬剤による眼科的副作用
 - ・眼窩疾患 update
 - ・臨床試験から実用化への道
 - ・未来を創るのは君だ！眼科トランスレーショナルリサーチ
 - ・加齢性疾患の老化研究最前線～臨床的アプローチと治療戦略
 - ・視覚難病の予後向上を目指して
 - ・こどもの目を守る ―第3弾―
 - ・眼科臨床と人工知能研究
 - ・網膜関連疾患治療薬の現状と未来
- 病医院運営プログラム
- ・子どもの目を守るモノ・コト・ヒト～デジタル世代をケアする中で～
- ナーシングプログラム
- ・チーム医療とロービジョンケア
- 視能訓練士プログラム
- ・ICT 教育における児童生徒の視機能管理
- その他
- 一般演題, インストラクションコース, コ・メディカルプログラム, 各種セミナー (モーニング,

学会・研究会 ご案内

- 演題募集** ランチョン、イブニング、フェアウェル)、日本眼科医療機器協会併設器械展示会、市民公開講座
一般演題、インストラクションコース:3月25日(月)~6月11日(火)
シンポジウム、コ・メディカルプログラム:3月25日(月)~7月5日(金)
※詳細は、学会 web サイト (<https://convention.jtbcom.co.jp/78ringan/>) の「演題募集」ページをご確認ください。
- 事前参加登録** 3月25日(月)~9月30日(月)
※詳細は、学会 web サイト (<https://convention.jtbcom.co.jp/78ringan/>) の「参加登録」ページをご確認ください。
- 主管校** 京都府立医科大学眼科学教室
(〒602-0841 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町 465)
- 運営事務局** 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
(〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階)
Tel. 06-4964-8869 Fax. 06-4964-8804 E-mail: 78ringan@jtbcom.co.jp

第 13 回日本視野画像学会学術集会

- 会 期** 2024 年 6 月 1 日(土)~2 日(日)
- 会 場** 朱鷺メッセ新潟 コンベンションセンター (〒950-0078 新潟市中央区万代島 6-1)
- 会 長** 福地健郎(新潟大)
- テーマ** FUSION
- プログラム** JIPS レクチャー「視野の探訪」篠田 啓(埼玉医大)
(予定) シンポジウム
「FUSION: AI による視野・画像研究の最前線」
「FUSION: 網膜硝子体疾患の imaging, 進歩と臨床への応用」
「FUSION: 視神経疾患における構造と機能」
特別セッション「FUSION: 視野と運転(仮)」
JIPS コーチングセミナー「医師の目の付け所、視能訓練士の腕の見せ所」
一般演題(口演)、企業共催シンポジウム、ランチョンセミナー、モーニングセミナー、アフタヌーンセミナー、器械展示、書籍展示
- 参加登録** 詳細は第 13 回日本視野画像学会学術集会ウェブサイト (<https://shinsen-mc.co.jp/13jips/index.html>) にてご確認ください
- 連絡先** 第 13 回日本視野画像学会学術集会 運営事務局
株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内
Tel. 025-278-7232 Fax. 025-278-7285 E-mail: 13jips@shinsen-mc.co.jp

第 80 回日本弱視斜視学会総会 第 49 回日本小児眼科学会総会 合同学会

- 会 期** 2024 年 6 月 14 日(金)~15 日(土)
- 会 場** アクトシティ浜松 (〒430-7790 浜松市中区板屋町 111-1)
- 会 長** 第 80 回日本弱視斜視学会総会 後関利明(国際医療福祉大熱海病院)
第 49 回日本小児眼科学会総会 近藤峰生(三重大)
- プログラム** ●第 80 回日本弱視斜視学会総会
(予定) 〈特別講演〉
「Strabismus Caused By Pathology of the Orbital Pulley System」Joseph L. Demer (University of California, Los Angeles)

〈シンポジウム〉

シンポジウム 1 『眼窩への架け橋-Orbital Pulley System with Sagging Eye Syndrome-』

オーガナイザー：長谷部 聡（川崎医大・眼科学 2）・後関利明（国際医療福祉大熱海病院）

「眼窩ブリーの病理と MRI」河野玲華（岡山大/河野眼科）

「眼窩ブリーの 3D モデリングでの可視化」濱崎一郎（Lino 眼科）

「Sagging like face」國見敬子（神奈川歯大附属横浜クリニック）

「Sagging Eye Syndrome を含む眼窩ブリー変性疾患の身体的特徴」飯田貴絵（国際医療福祉大熱海病院/慈恵医大）

シンポジウム 2 『多施設共同研究～最近の成果を共有する～』

オーガナイザー：仁科幸子（国立成育医療研究センター）・三木淳司（川崎医大）

「国内における弱視治療のアンケート調査」米田 剛（川崎医療福祉大）

「若年者の後天共同性内斜視とデジタルデバイスの使用の関連に関する多施設前向き研究」西川典子（旭川医大）

「斜視手術とボツリヌス毒素療法の全国調査—2013 年と 2021 年の比較—」後関利明（国際医療福祉大熱海病院）

「未熟児網膜症の多施設共同研究」村上智哉（筑波大/カリフォルニア大学サンディエゴ校）

〈視能訓練士プログラム〉

『褒められる検査 私が MVP』座長：尾内宏美（国際医療福祉大熱海病院）・高橋慎也（小沢眼科内科病院）

「35 歳以上の後天共同性内斜視—臨床的特徴と検査のポイント」君島真純（神奈川歯科大附属横浜クリニック）

「回旋測って MVP！～検査機器は、無いなら作る！～」佐々木翔（帝京大）

「Sagging eye syndrome を疑ったらここを見る！」深谷 京（国際医療福祉大熱海病院）

「斜視検査時に…患者さんの見え方、確認している？！」松井孝子（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

「いつもの検査にひと手間・ひと工夫」橋本勇希（福岡国際医療福祉大）

●第 49 回日本小児眼科学会総会

〈特別講演〉

「ゲノム医療をめざして～小児の網膜ジストロフィーの研究と臨床～」堀田喜裕（浜松医大）

〈シンポジウム〉

シンポジウム 1 『小児のぶどう膜炎と後眼部疾患』

オーガナイザー：日下俊次（近畿大）・園田康平（九州大）

「網膜芽細胞腫診療の最前線」鈴木茂伸（国立がん研究センター中央病院）

「未熟児網膜症の最前線」福嶋葉子（大阪大・眼免疫再生医学共同研究講座）

「小児ぶどう膜炎のマネージメント」慶野 博（杏林大）

「小児網膜硝子体疾患における画像診断技術の進歩」松下五佳（産業医大）

シンポジウム 2 『小児の前眼部疾患と緑内障』

オーガナイザー：外園千恵（京都府医大）・井上俊洋（熊本大）

「小児の前眼部疾患と緑内障」池田陽子（御池眼科池田クリニック/京都府立医大）

「眼形成異常・先天全身疾患に関連した緑内障」福戸敦彦（広島大）

「小児の緑内障手術」赤木忠道（新潟大）

●第 80 回日本弱視斜視学会総会・第 49 回日本小児眼科学会総会 合同学会

日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会 合同講習会

『0 歳から 100 歳までの斜視』

座長：根岸貴志（順天大）・若山曉美（近畿大）

「乳児内斜視の検査」羽柴かすみ（JCHO 中京病院）

「乳児内斜視の診断と治療」伊東恵美（順天大）
「学童期における間欠性外斜視の検査と訓練」白石ゆかり（近畿大）
「間欠性外斜視 QOL の観点から」森田由香（筑波大）
「後天共同性内斜視の検査」新井慎司（帝京大）
「後天共同性内斜視の治療」宇井牧子（CS 眼科クリニック）
「高齢者に対する斜視検査」前田史篤（新潟医療福祉大）
「高齢を理由に治療を断られた斜視（眼運動神経麻痺など）」植木智志（新潟大）
その他

一般演題（口演）、ランチョンセミナー、モーニングセミナー、イブニングセミナー、器械展示・書籍展示 ※詳細は、学会ホームページの「プログラム」ページにてご案内

ホームページ <https://convention.jtbcom.co.jp/jasa-japo2024/>

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン 事業共創部 コンベンション第二事業局
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8 階
E-mail : jasa-japo2024@jtbcom.co.jp Tel.06-4964-8869

第 36 回近畿神経眼科セミナー

日 時 2024 年 7 月 14 日（日）9：20～16：00

開催方法 ハイブリッド開催

会 場 ホテルフクラシア大阪ベイ 1 階 講堂（〒559-0034 大阪市住之江区南港 1-7-50）
Tel. 06-6614-8711

*昼食が必要な方には 2,000 円で用意させていただきます

Web Zoom ウェビナー開催（<https://x.gd/fBaFt>）

会 費 無料

プログラム 日本神経眼科学会認定講習会 奥 英弘（大阪医薬大）
特別講演

「視覚入力を失った脳視覚野における機能特性」増田洋一郎（慈恵医大）
「視野障害と自動車運転～『運転外来』から学ぶこと～」國松志保（西葛西・井上眼科病院）

ミニ教育セミナー

「眼部带状疱疹による眼窩先端部症候群が疑われた 1 例」松下 愛（和歌山医大）

「うっ血乳頭が疑われた毒性視神経炎」西川優子（大阪医薬大）

「Intrapapillary hemorrhage with adjacent peripapillary subretinal hemorrhage (IHAPSH) の症例提示および光干渉断層計所見に関する考察」竹本大輔（金沢大）

「動脈炎性前部虚血性視神経症の診断」板倉友紀子（京都大/京都桂病院）

「視神経炎の背後に隠れる鍵：適切な後療法を目指して」盛崇太郎（神戸大）

「最近経験したミトコンドリア病について」田村佳菜子（近畿大）

「病源性自己抗体陰性の眼筋型筋無力症の臨床的特徴」後藤拓磨（八鹿病院/兵庫医大）

「眼窩腫瘍の考え方と対処法」北口善之（大阪大）

*生涯教育認定事業ではありません

演題募集 なし

事務局 大阪大学医学部眼科学教室 連絡事務局 担当：松下賢治

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 Tel. 06-6879-3456 Fax. 06-6879-3458

連絡先 千寿製薬株式会社 大阪第一グループ 担当：中村寿雄（E-mail : toshio-nakamura@senju.co.jp）

〒541-0048 大阪市中央区瓦町 3-1-9 Fax. 06-6226-0803

共 催 近畿神経眼科セミナー 千寿製薬株式会社

第22回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

日 時	2025年2月15日(土) 14:45~18:15
場 所	千里ライフサイエンスセンター 山村雄一記念ライフホール (〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2)
開催形式	ハイブリッド開催(予定)
プログラム	講演 「軽度から中等度近視の後天共同性内斜視」稗田 牧(京府医大) 「『視覚はよみがえる—三次元のクオリアー』から考える両眼視訓練」 雲井弥生(淀川キリスト教病院) 「クリニックでの上下斜視」木村亜紀子(やさしい目のクリニック) 「“私はこう治療する”—会員による症例検討会(仮)」森本 壮(大阪大) ワークショップ 「レチノスコピー」全メンバー(下記)
登録料	医師 3,000 円, 非医師 1,000 円
主 催	近畿弱視斜視研究会(遠藤高生, 不二門尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 宮田 学, 森本 壮, 村木早苗, 増田明子, 野村耕治, 佐々本研二, 白井久美, 下條裕史, 杉山能子, 菅澤 淳, 近江正俊, 築留英之, 内海 隆, 横山 連)(以上21名・ABC順), 参天製薬株式会社
事務局	森本 壮(大阪大)
問合先	加藤大貴(参天製薬株式会社) Tel. 0120-310-106, E-mail: daiki.kato@santen.com